



予防歯科先進国 スウェーデン



スウェーデンと聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか。
バイキング、トナカイ、アイスホッケー、IKEA、イブラヒモビッチ？
じつはスウェーデンは予防歯科の先進国で、国民の歯の健康意識が非常に高い国でもあるのです。
しかも、日本でも当たり前の予防の常識や、歯科医院での治療技術には、スウェーデンからは入ってきたものもたくさん。皆さんの知らないスウェーデンの横顔をお伝えしましょう。

スウェーデンの歯の健康は？

70歳で残っている歯の本数の比較

スウェーデン…21本
(総入れ歯の人はほとんどいません)

日本…16.5本

12歳児のむし歯経験数の比較

スウェーデン…0.8本

日本…1.4本



国を挙げて予防歯科を推進！

いまでもこそ予防歯科の先進国として知られる同国ですが、昔は日本と同じように、むし歯や歯周病に悩まされる人が多い国でした。

1970年代から国を挙げて「予防歯科」を推進するようになり、国民の歯の健康状態は著しく改善！

歯科医院での定期的なメンテナンス受診率は約8~9割。また、デンタルフロスの使用率は5割以上とオーラルケアの意識は非常に高いです。

～スウェーデンの歯科事情～

- 20歳まで歯科医療費が無料！
メンテナンスだけでなくむし歯の治療などももちろん無料！
- メンテナンスは国民の常識
国民の8~9割が健診のために歯科医院を定期的に訪れています。
「歯が痛くなって歯科医院に行く」「治療が終わったからもう行かない」というのは少数派です。
- 専門性を生かした先生たち
何人かの先生がチームを組んで歯科医院を運営しているケースが多いです。歯周病担当の先生、歯の根の担当の先生というように治療科ごとに専門とする先生を置いています。先生が一人だけという歯科医院は少なく、町にある歯科医院は、院長を含め2~3人体制で診療しています。
- 予防の花形、歯科衛生士
歯科衛生士はスウェーデンの人気職業。スウェーデンでは、歯科衛生士は患者さんの予防業務のすべてを担います。予防の専門家として自身で診査・診断、指導を行います。日本と違い、歯科衛生士は歯科医師の治療を手伝うことはなく、補助は「デンタルナース」が行います。

～スウェーデン発の歯科技術～

- 歯科のクリーニング**…歯科医院に行くと、シェイーンと回転する器具で歯の表面をみがいてくれますよね。これは専門用語でPMT Cといい、同じくスウェーデン発祥です。
- プラークコントロール**…むし歯や歯周病はお口のなかの細菌のかたまりが原因で、その量を適切にコントロールすることが予防につながるという考え方。
- インプラント**…歯科用のインプラントの生みの親といわれるのが、スウェーデン人の故ブローネマルク博士です。金属のチタンが骨とくっつき、その際に拒絶反応を起こしにくいことを博士が発見しました。

